

- 一右之趣政府にも申立置る候得共左様之義ハ無之咎乍去安心之趣是精く可申遣候尤江戸見物等之節ハ前後ニ警衛之者附添候故當時之處ニ而ハ異變等は無之事ニ候
- 一十分御取締も可有之候得共万一之節ハ宜相願候
- 一其段ハ精く江戸表にも可申遣候
- 一江戸表より之御答相伺候上罷出度候
- 一江戸ニも度く異變有之候得共いつれも夜分之義候間夜行無之様致度候
- 一左様之變ハ無之義心得居候へ共万く一之趣是申上置候義ニ御座候
- 一江戸に参り候ても夜行之義ハ吳く無用ニ有之候
- 一承知仕候乍去万一之節ニ御決答無之候而ハ難罷出

候

- 一急便ニ而伺可遣候
- 一横濱に参り飲食彼是之義申上度候
- 一右ハ料理人ニ而も御附ケ被下候哉
- 一横濱於而も料理人等可有之候得共其義も承りニ可遣候
- 一参り候節日雇召連候而も宜御座候哉
- 一召連候而も不苦候依而ハ船中賄之義ハ致し可遣候得共横濱とても長崎ニ居候同様ニ而宜事と存候
- 一旅費等之儀當方より可申上候哉
- 一右ハ無腹藏可被申聞候乍去滞留中ハ長崎も同様之事と存候
- 一旅費ハ最前ニ取極可申上候哉

一最前之方宜一日何程と申處承り置度候

一横濱に参り候得ハ別段雜用も相掛且當地ニハ道具類も差置候故兩様ニ相成申候其邊ハ如何ニ御座候哉

一何れニも極り存寄承度尤當方を仕舞参り候得ハ船中何程と歟見込十分可申聞候

一和蘭ニ而ハ旅行いたし候得者仕舞候而之勘定も有之候領事官ドンクルキユルシユス杯ハ日々貳拾トルヲルツ、ニ御座候

一日當リニ而も附立勘定ニ而も宜候哉右兩様之内ニ致し吳候と申義ニ候哉

一日々定り候御勘定之方御都合可然と存候

一委細江府へ可申上候乍然領事官同様之義ハ如何ニ候哉

一素より右之半分ニ而宜領事官ハ八百トルヲル之給料當人共ハ其半分四百トルヲル之給料ニ御座候

一左候得ハ一日拾トルヲルニ而候哉勘定之義故跡ニ而兎哉角有之候而ハ不宣候

一相違ハ無之候尤長崎へ御雇ニ相成候者外に参り候事故逗留中も同様可被下是ハ和蘭之振合ニ候

一江戸之御雇ニ相成候歟別ニ御呼寄相成候歟極り候迄其通被下候様可申上候且地所撰候ニハ兩人参り其上ニ而職人之分ハ跡より呼寄候様ニ而宜事と存候其邊ハ如何ニ有之候哉

一先一應見分ニ参り候事故人夫多分ニハ入不申候得

共職人貳人程召連度候

一和蘭之職人ニ候哉

一左様ニ御座候

一兩人召連候ハ、當方製鐵所差支可申候

一製造所も右之次第ニ候ハ、御差支有之間敷ト存候

一乍然當時専ら取掛り居候小形蒸氣等ハ差支無之候哉

一其邊ハ篤と申談明日可申上候

一小形蒸氣打建ニ付而も其ため態々江戸より夫々役人も

参り居候程之義且外國軍艦修復等ニ渡來之節製鐵所有

之上ハ差支可申ト存候

一右ハ日本職人之助け有之候故差支有之間敷ト存候

へ共いつれ明日可申上候

一御軍艦打建場修船場地拵等ハ如何ニ候哉

一側ニ付居不申候半而ハ不相成先其内ハ丸休ニ被成

下度候

一英佛之製鐵所ハ盛大之由何れ之處ニ有之候哉

一佛ニ而ハツ―ロン地名シャルブル地名上同貳ヶ所ニ御座候

一貳ヶ所とも盛大ニ有之候哉英も同様ニ有之候哉

一英ハホルツム―ト地名ウ―レンチ地名上同右貳ヶ所ハ盛大

プリモ―ト地名右ハ小形之場所ニ御座候

一其位之製鐵所一ヶ所取建候ニハ先何程掛り何ヶ年程ニ

而出來可致候哉

一何分難申上候

一夫を當テニハ不致英佛之場所被及見候ハ、佛ニ而ハ何

程英ニ而ハ何程と凡之處ハ心得可居右を承り度存候
一貳百万トルラルを百倍ニ候間貳億トルラル程相掛
り申候

一夫ニ而何年程相掛り候哉

一佛ニ而取掛候ハ千七百九十年頃よりニ而四ヶ年前

ニ先出来いた候乍然其時々新發明も有之候間是

ニ而惣出来とハ難申候

一リニ修船場ハドロヲゲドツクと申是ハ船と丘は

不引揚修復いた候

一水をこくく汲揚丘ニいた候

一先船之可入門有之船を入候而右之門をメ水と汲出
候

一右様多分之入用掛夫程之益有之ものニ候哉

一國益而已ニ御座候別段利潤ニハ無御座候

一英國之内小形之製鐵所ニ而も軍艦修復等出来いた候

哉鐵砲も出来之場所ニ候哉

一軍艦之修復斗リニ御座候

一夫ハ凡何程位ニ而出来候哉

一腕と難申上候

一極凡ニ而よろしく候

一前書之高之内銃砲製作場と除候丈ケニ候得ハ只今
勘定出来兼候御取建ニ就而ハ大ナル分廉く可申上

候

一家根附之修船場壹ヶ所

一 蒸氣ニ而木をかわかす仕掛所壹ヶ所
一 製作方雛形場壹ヶ所

一 繪圖引場ニ有之候哉

一 最前ハ小き紙ふ繪圖を引其後ハ船丈ヶ之圖を引候
故大場所ニ御座候

一 鐵を鍛候大成場所壹ヶ所

一 大工仕事場一ヶ所

一 鋼具仕立場一ヶ所

右ハ出來之綱を又船ふ取付候様拵候場所ニ御座候

一 綱具其外等圍置候土藏一ヶ所

右夫々ニ仕切候而品々分置度候

一 材木之かわきたるを入置候大成家根有之場所一ヶ所

一 又池之様成木を漬置候場所一ヶ所

一 潮水ニ而宜候哉

一 潮水ニ而ハ虫付候間眞水ニ無之候而ハ不相成候

一 大成圍有之鐵舟出來之場一ヶ所

一 夫ハバツテイラニ候哉

一 フレガット拵候様成場所ニ御座候

一 麻ニ而綱を打候場所一ヶ所

是者道具を以打候先之拵上ヶ場今ハ違候

一 帆木綿織立候場一ヶ所

一 帆木綿杯ハ取寄候而ハ如何候哉

一 御取寄相成候而も宜候得共織立候得ハ安價ニ出來
且是も一式揃候内ニ御座候

一 帆出來之場所是ハ取ひろけ候故廣き場所宜候織立
場とハ別段ニ候

一 セビ車等出來之場一ヶ所

一 大工小屋ニ而ハ出來不致候哉

一 別ニ無之候半而ハ不相成道具等も違ひ候義ニ御座
候

一 諸器物ゆり立候場一ヶ所

一 碇綱出來場一ヶ所

一 右之品力様一候場一ヶ所

一 鋼ハ鑄物ニ候哉

一 打物ニ御座候

一 當時製鐵所ニ有之場所ニ而ハ出來不申候哉

一 鐵を鍛候ハ何と歟申候場所ニ候

一 ストームハムルニ而ハ碇綱ハ出來不致候

一 蒸氣拵場一ヶ所

一 蒸氣拵場所ハ違候哉

一 同く處ニ而も宜候得共大成物ハ出來不致候

一 何馬力位ニ候哉

一 六百馬力位之蒸氣ニ而出來致一候

一 右程ニ候ハ何程之大成物ニ而も出來致一候

一 鐵鑄物場一ヶ所

一 銅鑄物場一ヶ所

一 當所ニ御座候よりハ大成物ニ御座候

一 タ、ラニ而ハ如何ニ候哉

- 一 蒸氣之方宜候々、ヲニ而ハ澤山の鐵ハ涌兼候
- 一 百馬力以上之フイゴ場一ヶ所
- 一 蒸氣釜拵場壹ヶ所
- 一 惣品出來之分置場壹ヶ所
- 一 大成物動候ニ入用ニ付其品置場壹ヶ所
- 一 器械組建場壹ヶ所
- 一 大車ニ而鐵具を磨場壹ヶ所
- 一 ダライパンク 附屬之物ニハ無之哉
- 一 是ハ別ニ無之候而ハ不相成候
大成物トかんカ掛候様成義ニ御座候
- 一 山より出候岩鐵を鐵ニ致し候場壹ヶ所
- 一 溶鑛爐ニハ無之候哉

- 一 第一ニ右之溶鑛爐其外ニも入用ニ御座候
- 一 鐵ノ出し候場壹ヶ所
- 一 當時製鐵所ニ而取建候品ニ候哉
- 一 左様ニ御座候
- 一 小銃製作場壹ヶ所
- 一 大砲製作場壹ヶ所
- 一 ヒストン 管拵場壹ヶ所
- 一 右之場所ニ而小銃之道具不殘出來致し候哉
- 一 小銃之小道具ハ小銃之場所ニ而出來仕候
- 一 管ハ別ニ無之候半而ハ不相成候
- 一 合藥製作場壹ヶ所
- 一 ビスコイト 造場壹ヶ所

一粉類引場壹ヶ所

一米搗場壹ヶ所

一航海道具拵場壹ヶ所

一修船場壹ヶ所

一「ドローゲドック」壹ヶ所

一「ヘルリング」而已ニ而者間ニ合テ候哉

一右ハ小船出来ニハ宜候

一「ドローゲドック」ニ而ハ舟貳艘一同ニ修復出来仕候

一「ヘルリング」ニ而も貳艘ハ出来致シ候哉

一小船ニ候得ハ出来仕候

一右之物ニ而ハ何程之船修復出来候哉

一英佛共商船而已「ヘルリング」ニ而修復致シ候軍艦ハ

修復不致候

一何程之大サ之物出来ニテ候哉

一觀光丸位之船ハ出来ニテ候夫より少シハ大成も

出来仕候

一蘭之「コーブマント」申船位ハ出来觀光丸よりハ餘程

大形ニ御座候

一極小形之軍艦ハ出来可致候

一軍艦ニ而ハ大砲等取卸候而も出来不致候哉

一「ドロークドック」ニ而ハ水を汲出シ候故平ラニ御座

候「スレープヘルリング」ニ而ハ地も不平成故船之損

も出来仕候

一大船ニ相成候ヘハ品々取除候而も船之重サ十分ニ

御座候

- 一大船ニ相成候ヘハ「ヘルリング」ハ引揚兼候
- 一商船ニ而ハ蒸氣ニ而ハ諸機械も有之故「ヘルリング」ニ而ハ引揚間敷候
- 一商船ハ機械有之候而も軽く候
- 一商船ニ而ハ船輕故引揚修復出來候と申儀ニ候哉
- 一商船ニ候得ハ蒸氣ニ而も引揚り候大振ニ而も軍艦より餘程軽く差支不申候
- 一水桶出來之場壹ヶ所
- 一船ニ附候小道具類食物差置候場壹ヶ所
- 一帆檣拵場壹ヶ所
- 一釜等船ニ据付候節之仕掛

- 一インゲニユル其外職人等住居壹ヶ所
- 一役人ハ何程ニ候哉
- 一インゲニユル八人程右頭分壹人
- 一ボラメーストル造船師四人右頭分壹人
- 一兩様之惣奉行壹人

是ハ蘭ニ而ハアドミラル之役ニ御座候

- 一右申立候場所壹ヶ所々々ふ職人兩三人程ツ、ニ候
- 一夫ニ而ハ不足ニ而ハ無之哉

- 一其外ハ日本人ニ而宜候
- 一蒸氣斗リニ而蘭國ニ而ハラスコイト位之もの千貳百人程掛り居候

一日本職人凡壹万人程入用御座候

一右之位ニ而蒸氣何ヶ所位ニ候哉
一馬力次第ニ候得共餘程之數入り申候
一只今申上候内ニも失念之廉も可有之候
一夫ニ而何程相掛り候哉
一貳億トルヲルニ而出來候丈と申上候
一夫ニ而英ニ而盛大之物と同様ニ候哉
一左様ニ而御座候尤歐羅巴勘定ニ而申上候得共日本
之御勘定ニ而ハ餘程御損ニ御座候
一右者武器而已製ハ織物杯ハ傍ら製候譯ニハ無之候哉
一軍艦之爲計リニ御座候
一蘭ニ而も船出來之後ハ修復計リニ可有之夫ニ而も始終
隙おく候哉

一一向休ハ無御座候
一船硝子も此内ニ而出來致ハ候哉
一右ハ格別入用無之少く有之候得ハ宜乍然附屬致
居候ハ十分ニ御座候
一水夫衣類杯圍置候場所も有之宜候
一右ハ其機械を以追々器械増候様ニ相成可申哉
一其品ニ寄候義ニ御座候
一當時之製鐵所ニ而ハ中々左様ハ相成間敷候ハ共器械よ
り器械を産出候丈ニハ何程有之候ハ、出來可致哉
一當時之製鐵所位ニ而ハ出來不仕候
一機械之道具ニもより可申候得共右之場所凡何増倍程有
之候得ハ出來以多ハ候哉

一先五増倍程多く相成候得ハ蒸氣器械丈ハ出來仕候
一當地今之製鐵所ニ而ハ何艘位之損所ハ修復相成候哉
一何分難申上候

一不絶修復有之候得ハ宜左無之候而ハ贅物ふて候破損之
厚薄ニもより可申候得共強く痛み候船何艘位不絶修復
以多候得ハ宜くと申目當可有之哉

一出來兼候品幾等も有之候間左様ニ者參る間敷乍然
少くツ、ニ而もいたし居候得ハ夫丈ケ之事御座候
一器械ハ當地之方宜候其譯ハ上海より重ニ修復ニ可
參と存候

一自國ニ軍艦少き時ハ損失ものニ候哉
一先左様ニ御座候

一反射爐ニ而鐵砲杯クルニハ水車之方宜候哉蒸氣之方宜
候哉

一何をふても同様ニ御座候水勢十分ニ有之候得ハ水
之方よろしく候

一溶鑛爐ハ山本ニ取建候方宜と存候製鐵所ハ附屬之品ニ
候哉

一山本ニ候得ハ層ハ拔參り候故辨利宜事と存候

一溶鑛爐ニ入候ニハ其前ニ可入様ニいたし候故何れ
ニ而も場所ハ宜候

一溶鑛爐遠方ニ候得ハ運ひ候ニ入用掛り候
一併山本ニ而小割鐵其外荒吹ハいたし候得共百トン之も

の溶鑛爐ニ掛れハ目方ハ必減候處夫ハ百トン之運賃掛
り候丈不辨と存候

一 左様ニ御座候夫故山元宜候

一 先日支配向差遣候節兼而繪圖ニ而被心得候ニハ江戸近
く小蒸氣取建場所ハ無之由如何ニ候哉横濱居留所より
東南北方村之小山を越十二天と申山の間ニ少く海岸
平地有之此邊杯ハ出來可申哉右ハ船ニ而横濱ハ這入候
鼻之處ニ有之候繪圖ニ致候得ハ先ケ様之場所ニ候

一 海岸ハ何間程有之候哉

一 十二天之山と北方之山と之間凡三町歟二百間も可有之
哉耽とハ間を打候上ニ無之候而ハ不相分候

一 奥ハ廣く候哉

一 奥ハ一里も其餘も有之十二天纔の山を越候得ハ本牧本
郷村根岸村等皆海岸ニ有之併此海岸ハ遠淺ニ候得共北
方村ハ神奈川ハ之汐差引強く海深く候

一 前々臺場取建候所有之候哉

一 臺場ハ六ヶ敷繪圖も分り候様ニ認兼候間實地見分之上
ニ可被致候

一 壹ヶ所ニ而製一箱館ニ致せ長崎ニ致せ持運ハ而ハ如何
ニ候哉

一 箱館ハ箱館ニ有之候方宜候得共先一ヶ所ニ而よろ
しく候

一 各國ハ如何ニ候哉

一 所々ニ製造所有之候得共製候物ニ寄外場所より取

寄候品も御座候

一左候得ハ箱館ハ鐵を製候道具を取建長崎ハ銅を製道具
を取建候と申譯歟

一御沙汰之通箱館近邊ニ鐵之宜有之候ハ、其所ハ御
取建ニ而宜と存候銅ハ棹銅ニ候ヘハ何方ハ御廻
相成候而も差支無之候

一當時取建中之場所ニ而仕立候ものハ江戸ハ送り候而宜
譯ニ候哉

一是も江戸之方御入用多ニ候得ハ江戸ハ御取建之方
宜多く御入用之場所ハ取建候方御辨利ニ御座候

一左候得ハ日本中ニ而一ヶ所ニ而宜候哉

一唯今之處ニ而ハ一ヶ所ニ而宜乍然鐵船ニ而も多分

御打建ニ候得ハ一ヶ所ニ而ハ不足ニ御座候

一廉書ハ爲致候得共廉落も可有之右之手扣暫時借用いた
ゞ度候

一是ハ御讀兼可申候間明日認可差上候

一前ニ臺場之咄有之製造所ニハ何レも臺場有之候哉

一何レも有之候歟ハ右様之場所を目掛打崩候故ニ御
座候

一御當地ハ其御都合至極よろゝ候

一圖ニ而ハ江戸近ニハ其場所無之よゝ被申候ハ如何之譯
ニ候哉

一江戸近惡と申候ハ海淺く且川より砂落入砂底故惡
と申上候

一砂地ニ而ハ悪ク候哉

一砂ニ候得ハあ、是ニ相成候故不宜候

一唯今承り候場所を取建候ニハ何坪程ニ而出來可致候哉

一貳拾五万坪程ニ而宜候

一今日ハ種々承り大悅存候

右畢而退散

案スルニ此應答書横須賀船廠ヲ設ルノ前年ニ係ル當時未タ其何レノ地ニ取建ヘキヲ決セスト雖モ此工場ノ必用ニシテ我カ都府近傍ニ無カル可ラストノ事ハ嚮ニ永井岩瀬二氏ノ發議ニ胚胎シ其後漸々船艦ヲ増加セシニヨリ我カ海軍ノ將校モ交々修船場ノ必用ナルヲ建議シ又肥田濱五郎氏ハ府下石川島ニ取建ルノ得策ナルヲ云

ヘリ適小栗上野介勘定奉行ヨリ軍艦所ノ事ヲ兼勤シ大ニ時勢ヲ察シ海軍ノ擴張スヘキヲ悟リ首トシテ船廠設立ノ事ヲ主張シ終ニ我邦ニ駐在スル佛國公使ニ謀リ其周旋ヲ以テ同國ヨリ諸器械ヲ購入シ又工師ウエルニヨリ聘シ地ヲ相州横須賀灣ト武州横濱トニ相シ二工場ヲ設ルニ至レリ是レ時勢止ムヲ得サルノ事ト雖モ府帑空乏ノ際經營拮据此二工場ヲ起スニ至ルハ亦深ク嘉尙スヘシ

海軍歷史卷之二十

